



マイクロナノ MICRONANO

2009
04

CONTENTS

- トピック / 1
- 財団法人 マイクロマシンセンター
事業の動き / 2
- 技術研究組合BEANS研究所
事業の動き / 6
- その他 / 8

財団法人 マイクロマシンセンター
http://www.mmc.or.jp/

技術研究組合BEANS研究所
http://www.beanspj.org/lab/

No.67

トピック

MEMS産業を支える基盤作りに向けて

財団法人マイクロマシンセンター専務理事 青柳 桂一

マイクロマシン・MEMS等のマイクロナノ分野に係る基盤技術の確立は、先端技術をベースにしたわが国の産業競争力をより一層強化していく有効策として、現下の厳しい経済状況を克服する大きな切り札となるものと期待されています。

このため、財団の平成21年度の事業活動においては、MEMS産業を支える基盤作りを一層強化する活動に注力して参ります。具体的には、マイクロナノ分野に係る産学官が結集する技術開発プロジェクトを積極的に推進するとともに、併せてこれらの基盤技術の成果普及に努め、産業化を促進すべく、調査研究事業、標準化推進事業、普及促進事業やMEMS協議会活動としての政策提言活動、産業交流・活性化事業などの産業化のための環境整備活動にも、今年度から事務局体制を充実して積極的に取り組むなど、わが国産業の発展に寄与し国際社会へ貢献することを目指して事業活動を積極的に推進していくこととしています。

プロジェクト関係では、平成18年度より3カ年計画でスタートし平成20年度に終了した「高集積・複合MEMS製造技術開発プロジェクト」(通称：ファインMEMSプロジェクト)は、プロジェクトの当初目標を十分に達成して終了しましたので、今年度においては、その中で整備したファインMEMS知識データベースや、新たに開発したMEMS等価回路ジェネレータに関する普及促進やその継続的な取り組みを推進することによって、実用化への支援体制を整備します。

さらに、ファインMEMSを含む先端MEMSをわが

国の産業界に確実に根付かせしめるための拠点構想や、そこで取り組む研究開発プロジェクトに関する企画立案および提言を積極的に推進していきます。

また、平成20年度から5年プロジェクトとしてスタートした受託事業「異分野融合型次世代デバイス製造技術開発プロジェクト」(通称：BEANSプロジェクト)については、学会発表が27件、論文発表が2件、特許出願が10件の他、成果がマスコミにも多く取り上げられ、初年度ながら着実にその成果が見え始めてきています。

2年目となる今年度からは、技術研究組合BEANS研究所がプロジェクトの実施主体となりますが、財団法人マイクロマシンセンターとしても同組合に組合員として参画し、引き続きプロジェクトの円滑な推進を図るため、人材面、資金面も含めて支援・協力していくこととしています。

加えて、わが国のMEMS事業化を支援する枠組みとしてのMEMSファンドリー整備のために、積極的な活動を推進して参ります。

これら、財団法人マイクロマシンセンター及び技術研究組合BEANS研究所の事業成果や事業概要につきましては、今回が20回目の節目の開催となる第20回マイクロマシン/MEMS展(2009年7月29日(水)~31日(金)の3日間、東京ビッグサイト東5ホールで開催予定)において、ビジュアルな形でお示しできるように準備中です。

最後となりましたが、今年度も引き続き、財団法人マイクロマシンセンターの活動に変わらぬご厚志を賜りますと共に、この4月から事業を開始しました技術研究組合BEANS研究所にも併せましてご理解・ご支援をよろしくお願い致します。



技術研究組合BEANS研究所設立パーティでの野間口理事長挨拶(2009.4.23)



同パーティでは米村経済産業省産業機械課長から来賓挨拶を頂きました